「情報活用遅れる日本の医療 OECD 加盟 38 カ国のデータ公表」

経済協力開発機構(OECD)が加盟38カ国の健康・医療関係データを比較・分析した「図表で見る医療2023」を11月7日公表した。多くの国民が質の良い医療を受けられている現状に満足している一方、医療情報の活用が遅れているなど日本の医療が抱えるさまざまな課題も見て取れる。

OECD の「図表で見る医療」は、2年ごとに公表されている。国民の健康状態、健康上の危険度、医療アクセス、医療の質、医療支出、医療資源など加盟国の医療の実態を示すさまざまなデータを示し、加盟各国の医療政策に資することを目的としている。今回の公表に合わせて OECD の武内良樹事務次長と藤澤理恵雇用労働・社会政策局医療課医療政策研究員がパリ本部からオンラインで記者会見し、日本の状況について詳しく説明した。

公的医療支出割合は1位

まず国民の健康状態の比較では、新型コロナによる影響が小さいことが分かる。2020年~2022年新型コロナによる死亡率は10万人当たり46人と0ECD加盟国平均の225人を大きく下回り、加盟国中3番目に少ない。2021年の平均寿命も前年に比べ0.1歳下がったものの84.5歳と、0ECD平均を4.2歳上回り引き続き加盟国中、最も高い。

医療支出についても、国民一人当たりの国内総生産(GDP)に占める医療支出の割合は11.5%(0ECD 平均は9.2%)と4番目に高く、政府支出に占める公的医療支出の割合も22%と0ECD諸国で一番高い。医療資源に関しては、人口当たりの病床数は1,000人に対し12.6床と韓国の12.8床に次いで2番目に多く、0ECD 平均の3倍に上る。予防医療の面では、太り過ぎの人の割合が2019年に27%と10年前の25%から増加しているものの、0ECD諸国で最も少ない。医療へのアクセスに関しても、医療にかかる自己負担額が家計最終消費支出に占める割合は2021年に2.4%と0ECD 平均3.3%を下回る。

遅れる医療資源の効率的活用

このように日本が優位とみなされる数字を示す一方、さまざまな問題点が明らかにされている。医療資源の活用では、病院支出に占める介護の割合が OECD 平均3%に対し10%と高い。OECD 平均に比べ病床数は約3倍で、平均在院日数も約2倍。これらの数字は病院の負担が大きいことを示すが、人口1,000人当

たりの医師数は 2.6 人と OECD 平均 3.7 人を下回る。プライマリケアの強化が医療資源の効率的活用につながるとされているが、病院の外でかかりつけ医として働く医師数も少ない。

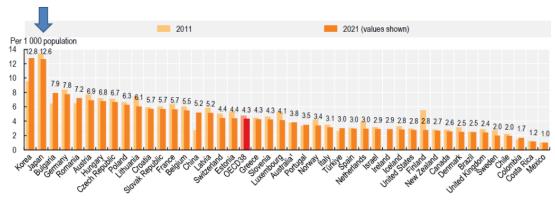


表5.17. 病床数、2011年と2021年(または直近年)

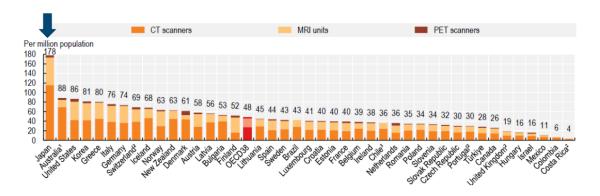
出典: OECD Health Statistics 2023.

StatLink https://stat.link/ua2tpn

(藤澤理恵 OECD 雇用労働・社会政策局医療課医療政策研究員「図表で見る医療 2023:日本」から)

一方、人口 1,000 人当たりの看護師数は 12.1 人と 0ECD 平均 9.2 人を上回る。 薬剤師の数は過去 20 年で急激に増え、人口当たりの薬剤師数は 0ECD で群を抜き高い。コンピュータ断層撮影 (CT) スキャナー、核磁気共鳴画像 (MRI) 装置、ポジトロン断層 (PET) スキャナーという高度医療機器数は 0ECD 平均の 3.7 倍とこれまた群を抜いて多い。ただし、これらの医療機器が有効に活用されているかは不明。医療に関する設備投資は 0ECD 平均を優に上回るが、知的財産への投資は 0ECD 平均より少し多い程度にとどまる。

表5.23.CTスキャナー、MRI、PETスキャナー数、2019年(または直近年)



1. 公的に支払われる機器だけを含む。 2. 病院外の機器は除く(スイスはMRIIに限る) 3. 2017年のデータ 出典: OFCD Health Statistics 2023

StatLink https://stat.link/xv92kr

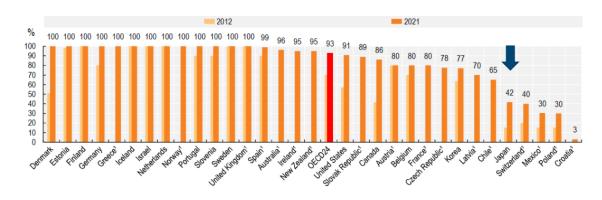
(藤澤理恵 OECD 雇用労働・社会政策局医療課医療政策研究員「図表で見る医療 2023:日本」から)

こうした現状が日本の病院の負担を大きくしているとして「医療資源の効率的活用が求められる」と、藤澤理恵 OECD 雇用労働・社会政策局医療課医療政策研究員は指摘している。乳がん検診率が約 45%で OECD 平均の 60%を下回る。男性の喫煙率が 27%と OECD 諸国中 7 番目に高く、過去 10 年の喫煙率の減少も OECD 平均よりも小さい。医療支出に占める予防医療の割合は 3 %と OECD 平均の 5 %を下回る。こうした数字も挙げて藤澤研究員は「費用対効果が高い政策と考えられている予防医療をさらに推進する余地がある」ことも日本の大きな課題として挙げた。

急がれる医療データの活用

さらに武内良樹 OECD 事務次長と藤澤研究員が日本に求めているのが、医療情報システムを強化し、医療の質を向上させる対応だ。電子カルテを利用している開業医が 42%と OECD 平均の 93%に対しはるかに遅れている現状などを示し、データベースをリンク付けすることにより、医療の質のモニタリングを向上させることを求めている。プライバシー保護や個人情報の扱い方に関する研修やデータ共有のルールや手続の策定などによるデータ管理の強化、さらにデータの相互運用の国際的な基準の導入といった医療情報システムのガバナンス強化策が必要としている。

表5.14. 開業クリニックで電子カルテを利用している割合、2012年と2021年



1. 最新年は2016年 (2021年のOECD平均には含まれない)。 出典: OECD Survey of Electronic Health Record System Development and Use, 2012, 2016 and 2021.

StatLink https://stat.link/dnjmio

(藤澤理恵 OECD 雇用労働・社会政策局医療課医療政策研究員「図表で見る医療 2023:日本」から)

データ科学者確保が先決か

医療分野でのデータ活用が遅れていることに対する危機意識は日本国内でもようやく生まれつつある。東京医科歯科大学は、医歯学研究・医療・教育をデータサイエンス面で推進するため2020年4月にM&Dデータ科学センターを設置した。センター長の宮野悟特任教授は、月刊誌「選択」8月号の巻頭インタビューで次のように話している。

「医療を情報工学がけん引する時代がすでに到来している。実際、米英では 医学部トップは情報科学系の人材へと次々に置き換わっている。今の病院はど こも『データのゴミ屋敷』で、貴重なデータを未整理のままため込んでいる。 その整理にかかる莫大なコストを、医療費がカバーしていないことも問題だ」

宮野特任教授は、センターにデータ科学者を招聘するため海外の研究者に打診したところ提示した年俸が安すぎると4人の女性研究者に断られたことも明らかにしていた。東京医科歯科大学のホームページを見ると、教授公募の文書が10月23日付で載っている。求めているのは、ビッグデータを活用した疾患の複雑なシステムなどを理解するためのAI技術の開発研究や学生・大学院生に対する教育・研究指導に当たってもらうAI技術開発を専門とする研究者だ。データ活用に必要な適任者を求める苦労がうかがえる。

日文 小岩井忠道(科学記者)

関連サイト

OECD $\mathcal{I} \vee \mathcal{I} \vee \mathcal{I} \vee \mathcal{I} \vee \mathcal{I}$ [Digitalisation of health systems can significantly improve performance and outcomes]

Health at a Glance 2023: OECD Indicators

OECD Health at a Glance 2023 Country Note Japan <u>OECD 図表でみる医療</u> 2023 ブリーフィング資料

藤澤理恵 OECD 雇用労働・社会政策局医療課医療政策研究員「<u>図表で見る医療</u> 2023:日本」

東京医科歯科大学「M&D(エムディー)データ科学センターAI 技術開発分野教授 候補者の公募について」

関連記事

2023年11月08日消费者调查证实惊人结果: ChatGPT 高关注和高期待

2023年09月20日 "ChatGPT 可以帮助设计,大学教育和高考也将改变?"

2023 年 06 月 20 日<u>科学家团体推进讨论 AI 应用, 政治家与科学家开始对话与共</u>创政策

2023 年 05 月 25 日 <u>OECD</u> 司长为应用 AI 建言:"需从根本上重新审视教育和入学考试"

2023 年 04 月 20 日 2040 年日本护理人员缺口达 69 万人要靠数字化解决,同期中国市场将达 1. 1111 万亿日元

2021年05月07日<u>专家建议实施"社区综合医生"制度,彻底改善护士的职能</u>和待遇

2020年10月12日【新型肺炎】小宫山宏等人就疫情对策提出建议,整合医疗机构及合理限制移动

2020 年 07 月 28 日<u>【新型肺炎】普通患者减少空床增加,133 家大学医院亏损</u>313 <u>亿日元</u>

2020年04月07日日本启动智慧医院验证实验,实时掌握患者的行动和身体状况